

平成23年度 指定管理者施設管理評価シート

部 区民部 課 子育て支援課

施設名称	〔2〕 東京都台東区母子生活支援施設さくら荘					
指定管理者の名称	社会福祉法人愛隣団	指定期間	H22. 4. 1 ~ H27. 3. 31			
<b>1. 指定管理者の概要</b>						
(1) 業務内容	愛隣保育園、愛隣団隣保部（病後児保育、一時預かり保育など）					
(2) 類似施設の管理実績	なし					
(3) 経営状況	（22年度決算）経常収入 258,997,134円 経常支出218,851,348円・施設整備等による支出 8,184,921円・財務活動による支出33,107,470円 収支差額計 △1,146,605円					
<b>2. 施設の概要</b>						
(1) 所在地	台東区橋場1-35-7					
(2) 設置目的	配偶者のない女子又はこれに準ずる事情にある女子及びその者の監護すべき児童を入所させて、これらの者を保護するとともに、自立の促進のためにその生活を支援し、あわせて退所した者について相談その他の援助を行うことを目的とする。					
(3) 利用者	配偶者のいない女子及びその女子が監護すべき児童等					
(4) 開館日・時間	通年、24時間					
(5) 規模	鉄筋コンクリート3階建ての2・3階部分、床面積714.01㎡ 入所定数 10世帯					
(6) 人員体制	常勤6名、常勤的非常勤1名					
<b>3. 事業（サービス提供）の概要</b>						
(1) 委託事業	児童福祉法、並びに子どもの権利条約、DV防止法等の法令に基づき、生活自立のための支援を必要とする母子へ支援サービスを行う。母親への支援、児童への支援、その他退所に向けての支援、関係機関との連絡調整、苦情解決への取り組み等					
(2) 自主事業	社会復帰等自立促進事業〔入所者と地域の交流(餅つき・清掃活動など)〕					
<b>4. 予算決算の推移</b>						
		18年度	19年度	20年度	21年度	22年度
予算	委託料	32,257,000	32,736,000	33,024,000	33,400,000	33,729,000
	料金収入等	0	0	0	0	0
	管理経費	32,257,000	32,736,000	33,024,000	33,400,000	33,729,000
決算	委託料	32,070,537	32,690,814	33,021,261	33,391,159	33,729,000
	料金収入等	126,587	584,631	465,622	463,502	458,209
	管理経費	32,197,124	33,275,445	33,486,883	33,854,661	34,187,209
	収支	0	0	0	0	0
<b>5. 施設の稼働状況等（活動指標）</b>						
指標名称	単位	19年度	20年度	21年度	22年度	
室数	室	10	10	10	10	
<b>6. 成果指標</b>						
指標名称	単位	目標値(24年度)	20年度	21年度	22年度	
延世帯数	世帯	95	108	110	91	
延入所者数	人	230	258	256	207	

## 7. 平成22年度評価結果に対する現在までの取組み

- ・ハローワーク・学校など関係機関との協力・情報共有については、それぞれのケースに合わせて行っている。
- ・積極的に地域や関係機関と関わっていくことが、自立にとって大切であることを入所者に促し、関わりを勧めている。
- ・一人ひとり異なる問題を抱えた入所者に対し、それぞれに合わせた自立支援計画を立てている。

**8. 評価項目**      3：協定等の水準を上回っている。      0：協定等の水準を下回っている。  
 2：協定等の水準どおりである。      -：評価対象外項目。  
 1：おおむね協定等の水準だが課題がある。

評価の観点	評価項目			
(1) 事業の運営 平均 [2.0]	(a) 施設の目的達成	[2]	(f) 開館時間等の遵守	[2]
	(b) サービス水準	[2]	(g) 自主事業の成果	[2]
	(c) 職員配置	[2]	(h) 個人情報保護	[2]
	(d) 職員研修	[2]	(i) 緊急時対応マニュアル	[2]
	(e) 案内・接遇	[2]	(j) 警備・防犯体制	[2]
(2) 施設の維持管理 平均 [2.0]	(a) 建物保守・設備機器点検	[2]	(e) 危険箇所等の確認	[2]
	(b) 備品の管理	[2]	(f) 管理記録の作成・保存	[2]
	(c) 清掃・衛生管理	[2]	(g) 業務委託の事前承認	[2]
	(d) 施設の修繕	[2]	(h) 省エネ・省資源・環境配慮	[2]
(3) 利用者の満足度 平均 [2.0]	(a) 利用者・第三者機関の評価	[2]	(d) 利用しやすい環境整備	[2]
	(b) 苦情・要望への対応と報告	[2]	(e) 関係団体・地域との関わり	[2]
	(c) 利用者数の目標達成	[-]		
(4) 歳入歳出 平均 [2.0]	(a) 適正な予算執行	[2]	(c) 収支計画の達成	[2]
	(b) 経費削減のための取組み	[2]	(d) 利用料等の徴収・管理	[-]

**9. 評価**

S（水準以上）： 協定等の水準を満たし、一部に水準を上回る内容がある。  
 A（適正）： 協定等の水準を満たす管理が行われている。  
 B（一部課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、一部に課題がある。  
 C（課題あり）： 協定等の水準を満たしているが、課題が複数ある。  
 D（水準未滿）： 協定等の水準を満たしていない。

評価の観点	評価	説明
(1) 事業の運営	A	365日・24時間体制で入所者をサポートする特殊な施設であるが、水準を満たした運営を行っている。入所者に対する毎日のサービスについても水準を満たしている。また退所者のフォローとして、電話・来所相談、学業支援などを行っている。
(2) 施設の維持管理	A	軽微な故障や破損については、指定管理者として速やかに対応している。
(3) 利用者の満足度	A	複雑で困難な問題を抱えた入所者に対し、一人ずつ入所者に合わせて異なる対応をしており、入所者の満足度は概ね高い。
(4) 歳入歳出	A	適切で継続的な処遇の為、人材育成と継続的な雇用が必要である。歳出削減の努力は認められる。

**10. 総合評価**      良好   妥当   要努力   要改善   不適

<b>妥当</b>	退所者に対する支援も着実に実施しており、全体的に、おおむね適切な施設運営が行われている。
-----------	--

## 11. 平成23年度評価結果に対する今後の対応

入所者個々に合わせた、適切なサービスを提供している。今後の課題としては、入所者の生活を安定させるため、母だけでなく子の生活技術の向上が求められる。退所者へのフォローも含め、全般的に十分なサービスが提供されているが、今後はよりいっそう充実したサービスの提供を努力していく。